

# 一般会計の最終予算

## 総額は九億二千万円

昭和三十七年度の一般会計は、昭和自現在で八億四千五百三十三万三千四百七十五円、その後五回にわたり七十九万五千円、千円の追加更正を経て、九億二千四百七十五万二千四百七十五円に達したのである。この追加状況をまとめると次のとおりである。

区 分	予算額	推移率	増 加 額
0 当 初 予 算	798,756,500円	100.84	
1 昭和37年9月末現在	845,420,300	105.84	46,663,800
2 昭和37年10月4日追加更正予算	868,816,900	108.77	23,396,600
3 昭和37年11月15日追加更正予算	878,351,300	109.96	9,534,400
4 昭和37年12月26日(専決)追加更正予算	886,765,900	111.02	8,414,600
5 昭和38年3月25日追加更正予算	923,923,600	115.67	37,162,900
6 昭和38年3月25日追加予算	924,752,300	115.77	823,500

次に歳入歳出において追加更正の主要なものを概略説明いたします。

### 入

まづ歳入は、その大半を占める市税において三千九百八十一万八千四百七十五円と当初予算に対して九・五%の追加をしたのであります。

この追加額を税目別に内訳をみると市税において一千九百三十二万二千円、電気ガス税で八百七十一万九千九百円、固定資産税七百五十万六千円、市たばこ消費税三百三十七万四千円等が主であります。次に市が事業を行うときに多額の費用が必要となり、この費用を市の自主的財源のみでまかなうことは非常に困難であります。そこで市では依存財源として政府から長期の借入金を致します。これが市債であります。この市債において三千三百萬円の追加をしたのであります。これは当市における海の玄関としての田子浦港築港による整備事業の地元負担金に充てるための市債二千三百萬円、新東海道幹線通過に伴い、田子浦小学校の移転新築事業市債として七百萬

円、消防施設の市債二百萬円等によるものであります。又雑収入においては前述しました田子浦小学校移転のため国鉄との契約による利子前払金として八百四十一万四千円、及び五市競輪組合開催による事業収益金二千四百円等により、二千九百三十二万六千円の追加をしたのであります。また前年度よりの繰越金一千九百五十八万八千円に追加をしたのであります。

### 出

一方歳出においては、財政調整積立金等により財産費で九千七百八十三万二千二百円、公務員のヘラスアップに伴う人件費関係の市得所費で一千三百五十六万六千円、また皆さん

の住みよい町にするための環境衛生施設である下水道終末処理場建設用地買収費等により、保健衛生費で一千一百三十七万九千円及び産業経費では、農業の近代化を促進するための農業生産基盤整備費等により、二千三百三十七万七千円の順で追加しております。しかし都市計画費では、逆に前述した通りの事業不執行により四千四百九十四万八千円の減額を余儀なくされたのであります。次に教育費で一千四百七十八万八千円、諸支出金で二千三百三十九万七千円、社会及び労働施設費で八百四十二万二千円と各々減額を九億二千四百七十五万二千円の最終予算となつたのであります。

以上によりの追加更正額の状態を概略説明いたしました。次に昭和三十七年度の当市のおもな事業を要約すると、

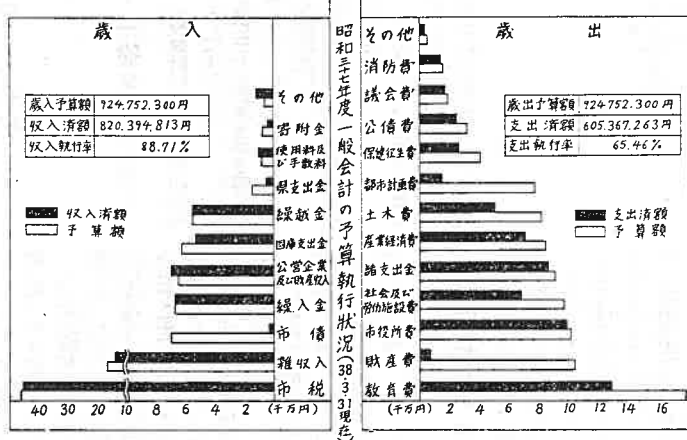
- ▼ 田子浦小学校移転新築事業、一億四千九百四十二万三千円。
- ▼ 南中学校建設事業三千三百四十五万一千円
- ▼ 市営住宅及び保育所建設事業、五千八百四十七万三千円。
- ▼ 農業、土木関係の整備事業、三千七百七十五万六千円。
- ▼ 下水道終末処理場用地買収事業一千五百二十二万二千円
- ▼ 都市計画街路整備

### 事業

## 市税の収入状況

三月末現在で八八・七%

昭和三十八年三月末現在に、び支出の概況をグラフで示すと、おける昭和三十七年度の収入及、次のとおりであります。




国民健康保険の届出  
国民年金

転入、転出または会社工場への入退社のときは必ず市民課窓口へ届出て下さい。

今月の納税  
市県民税 第1期


6月30日まで納めて下さい





1世帯当り **41.920円**  
1人当り **9.004円**

昭和37年度  
特別会計予算執行状況

国保会計

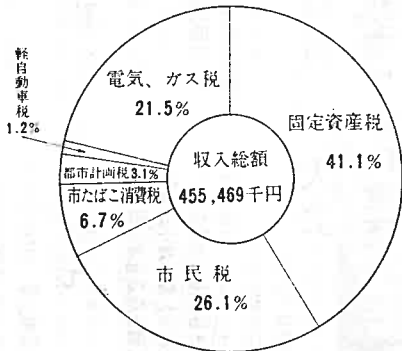


予算額 42,325,000円  
収入済額 40,869,161円  
支出済額 34,302,630円

公益質屋	と畜場
 <p>予算額 3,846,000円 収入済額 3,074,658円 支出済額 3,106,491円</p>	 <p>予算額 3,705,700円 収入済額 4,552,879円 支出済額 2,002,704円</p>

(38.3.31現在)

市税税目別内訳



住民の負担

一人当り九、〇〇四円  
市税は、市の財源の重要なウエイトを占めており、財政における住民負担の状況は市にとつても又住民の皆さんにとつても重要な問題の一つであります。本年三月末日現在における市税の調定額は四億六千二百七十五万八千四百六十九円であり、収入済額は四億五千五百四十六万九千六百四十四円であり、対し九十八・四％であり良好な収納率です。又住民一人当り及び一世帯当りの市税負担割合は次のとおりです。  
また収納済の市税四億五千五百四十六万九千六百四十四円を、各税目別に内訳をグラフで示すと次のとおりになります。

財産

前回の公表後における市有財産の変動についてご説明いたします。  
まづ土地と家屋においてそれぞれ増加しております。土地の増加は若中体育館、第六分団消防車庫、下水道終末処理場等の用地買収により一万余七千七百五平方メートルと家屋においては、南中学校増築、浜保育園新設、公営住宅建設により一平六百六十九平方メートル増加となりました。  
一方現金及び有価証券では、新東海道幹線通過により、田子浦小学校移転新築にともない五

財産、市債および一時借入金の現在高



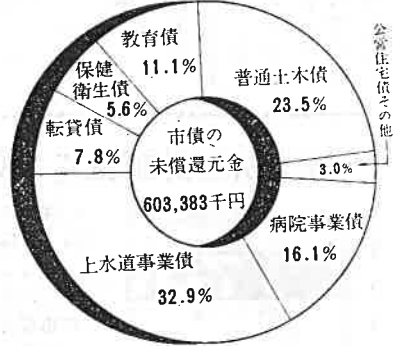
一時借入金

千八百七十一万五千円の移築費立金をとりくみました。その他の財産の変動はなほ二月末日現在における市有財産の現在高は右のとおりです。  
三月末日現在における市債の未償還元金は六億二千三百八十三千円です。  
未償還元金の借入目的別内訳をグラフで示すと右のバイクラフのとおりです。

一時借入金

現在借入れておりません。  
以上が昭和三十七年度下半期における市財政のあらましを説明してまいりました。  
今後の市政運営上にはいろいろ困難な問題も予想されますが財政健全化のため極力消費的経費の節減をはかりつつ重要事業の推進に当つては、慎重にまた速やかな決断をもつて懸案の諸施策の早期実現をはかつてまいります。  
この間にあつて、事業執行の原動力となるのはやはり皆さんに納めていたく市税でありますので、皆さんのご理解、ご協力によつてこれら財源の確保に努め、行財政の合理化によつてより効率的な運用により住民福祉の向上に一層の努力をこめてまいりたいと考えております。

あとがき



転入転居の届け出は...  
必ず14日以内に、市役所市民課へお届けください



タバコは市内で

